

非繊維製品の抗ウイルス試験 FAQ

よくある質問をまとめてみました!



(一財) ボーケン品質評価機構(通称:ボーケン)は当初綿紡績糸の輸出検査を中心とした第三者検査機関として発足いたしました。発足から75年。時代と共にボーケンも大きく様変わりし現在では繊維製品に限らず、プラスチック、フィルムなど様々なアイテムに対応しています。

そんな中、現在ニーズが高い試験の一つに「非繊維製品(プラスチックなどの硬質材料)の抗ウイルス試験」があります。この抗ウイルス試験についてよくある質問をまとめましたので皆様のお役に立てればと思います。



試験のご依頼や試験方法について

耐久性試験とは何ですか？

SIAA マーク申請に必要な試験で、光や水の影響により抗ウイルス効果が減少しないかどうか耐光性、耐水性の2つの区分で行う試験のことです。それぞれの処理を行い、処理後の試料で抗ウイルス試験を行います。なお、光や水のいずれにも影響を考慮する必要がない製品の場合、例えば使い捨て商品などは区分0となります。製品の用途・使用目的等によりお客様で区分を決定する必要があります。詳しくは SIAA 事務局 (<https://www.kohkin.net>) へご相談ください。

SIAA とは・・・

一般社団法人抗菌製品技術協議会の略称で、抗菌・抗ウイルス防カビ製品の普及を目的として出来た団体です。



SIAA マークを付けたいのですが、どうすればいいですか？

ボーケンでは SIAA マーク取得に必要な抗ウイルス試験の検査機関で報告書の発行を行っております。SIAA マークを取得するには報告書の他に使用薬剤の安全データシート(SDS)の提出や SIAA の会員になる必要があります。



SIAA マークの申請はボーケンでできますか？申請の流れを教えてください

申請はボーケンでは行っていません。申請の流れは、
①加工剤の成分についての安全データシート(SDS)等を準備。
②登録データシートと加工の有効性を示す試験報告書(ボーケンでの試験結果)を準備。
③①②の書類を SIAA 事務局に提出 + SIAA の会員になる(初回のみ)。
詳しくは SIAA 事務局 (<https://www.kohkin.net>) へご相談ください。

試料サイズについて教えてください

5.0±0.2cm 角(厚さ1cm以内)の平らで吸水性が無いものをご用意ください。

試料サイズの最小サイズはどの程度ですか？

2×5cm もしくは 3×3cm サイズが最小となります。

試料枚数について教えてください

1ウイルス種につき(5.0±0.2cm角)	加工	無加工
一般用	9枚	12枚
SIAA マーク申請用	18枚(9枚×2区分)	24枚(12枚×2区分)

平らな試料が準備できないのですが、どうすればいいですか？

出来る限り、平らに成型したものを準備ください。それでも難しい場合はご相談ください。

無加工品がないのですが・・・

SIAA マーク申請用は必ず無加工品が必要です。また、ISO 21702の規定にも無加工品が必要となっています。どうしても用意できない場合は弊機構保有のフィルムによる代用は可能ですが、ISO 21702 準用となり SIAA マークの申請は出来ません。



どのウイルスで試験すればいいですか？

ISO 21702 は、インフルエンザウイルス（エンベロープ*あり）とネコカリシウイルス（エンベロープなし）の2種類が指定されています。ちなみに、ネコカリシウイルスは、冬場の食中毒等の原因ウイルスとされるノロウイルスと同じエンベロープなしの代替ウイルスとされています。

*エンベロープ：ウイルスを保護する脂質性の膜のこと

SIAA マーク取得の場合、両方、もしくはいずれか一方でも申請可能です。

液体や粉末は試験出来ますか？

液体および粉末状試料の抗ウイルス試験は出来ません。

プラスチック板などに塗布もしくは、練りこむかなどしていただき、5.0±0.2cm 角の平らで乾燥したものを準備ください。

木材・紙や革（雑貨）での試験は出来ますか？（ダンボール・印刷物なども同様）

可能です。しかしながら、吸水性が高い場合、その素材自体に含まれる成分によって無加工品の試験結果が良くなり、試験不成立になってしまうこともあります。

他にもこんな質問があります！



試験結果について

試験結果はどこを見たらいいですか？

「antiviral activity（抗ウイルス活性値）」が試験結果になります。抗ウイルス活性が高いほど数値が大きくなります。

抗ウイルス活性値とは？

試験試料のウイルスの減少を表した対数値です。試験試料と無加工品の減少値の差から求められます。
(無加工品の減少値 - 加工品の減少値) 加工品の減少値が大きいくほど抗ウイルス活性値が高くなります。

基準値は？

ISO 21702 には基準値の規定がありません。なお、SIAA マーク申請用試験の性能基準は抗ウイルス活性値 2.0 以上とされています。

抗ウイルス活性値が「0」とはどのように解釈したらいいですか？

対照試料（無加工品）と同程度しか減少しておらず、抗ウイルス性はないということです。

抗ウイルス活性値が「-（マイナス）」とはどのように解釈したらいいですか？

対照試料（無加工品）よりウイルス減少値が小さく、抗ウイルス性はないということです。

試験不成立とはどういうことですか？

無加工品が加工品同様にウイルスが減少した場合、加工品の効果を評価できないため試験不成立となります。
無加工品の試料にウイルスを減少させる何らかの成分が存在することで起こることがあります。



表示について

抗ウイルス効果を謳う際に%（パーセント）表記は出来ますか？

ISO 規格には%の表示の考え方はありません。接種前後のウイルスの数などを比較することで計算は出来ますが、過剰な表現となる場合、優良誤認につながる可能性もあるのでお勧めできません。市場のもので%で表示されているものはどれもメーカー様独自の考え方によるものと思われます。

SIAA マークをつけるにはルールはありますか？

あります。試験方法により表示可能なマークの種類があります。詳しくは SIAA 事務局 (<https://www.kohkin.net>) へご相談ください。

上記の内容についてご不明な点などございましたら、こちらまでお問い合わせください。

☎ 03-5669-1380

■東京試験センター
〒135-0001 東京都江東区毛利1丁目12番1号

☎ 06-6577-0200

■大阪試験センター
〒552-0021 大阪府大阪市港区築港1丁目6番24号

機能性の評価、研究開発でお悩みではないでしょうか？
ボークンでは、お客様の開発ニーズに合わせてご提案を行い、
お客様の商品開発をサポートします



🐦 @boken1948

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！
みなさまのフォローお待ちしております！

